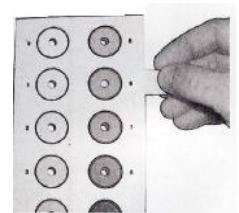


# HT-1850 スモークテスタ 取扱説明書

## 操作方法

※スモークをサンプリングする前に、バーナを最低5分は作動させて下さい。

- 1 サンプリング管をシリンダー外側のクリップから外します。
- 2 クランプを緩め、切取ったフィルタペーパーを隙間に挟み、クランプを締めます。
- 3 サンプリング管を煙道の計測口から、燃焼ガスの流れ方向に垂直に挿入します。
- 4 ポンプ本体のハンドルをフルに10回引っ張りポンピングを行います。  
ポンピング時は、最後までしっかりとハンドルを引っ張り、引っ張り切った時に数秒間止めるようにして下さい。また一回引っ張るのに2～3秒かけて、しっかりと吸込ませるようにします。
- 5 煙道からサンプリング管を取出し、クランプを緩め、フィルタペーパーを取出します。
- 6 フィルタペーパーに付着したスモークをスモークスケールの10個のスモークサンプルに合わせます。この比較作業の際、フィルタペーパーは、スモークスケールの間に必ずはさんで下さい。(はさまずに比較すると、後ろの透過により、正確に比較することができません。) フィルタペーパーに付着したスモークを、各スモークサンプルの真中のドーナツ穴から覗かせて比較作業を行いません。
- 7 一度使ったフィルタペーパーを続けて使用する場合は、既に計測した部分は避けてご使用下さい。



## ◎正確な計測のために

- 10回使用する度に、サンプリング管を軽く叩いてススや錆を落とします。また、隙間にフィルタペーパーを挟まずにクランプを締め、ハンドルを引っ張って数回素早くポンピングを行って、クリーニングを行います。
- スモークテスタにエア漏れが無いが、時々チェックするようにして下さい。(詳しくは下記の「メンテナンス」をお読み下さい。)
- スモークテスタはサンプリングを行う前に、冷えた本体を温室になじませて温度を上げて下さい。それにより、結露を防ぐことが出来ます。

## メンテナンス

### 1. スモークテスタのメンテナンス

#### ◆軽い粘着性スス粒子を取り除く

・サンプリング管先端を少し下に向け、フィルタペーパーを入れない状態で、ポンプを何度か素早くストロークして下さい。これにより、軽い粘着性の汚れが、バルブから剥がれます。

#### ◆スモークテスタの分解

- ① シリンダーキャップを左に回して緩めて下さい。
- ② シリンダーから注意深くピストンパッキングを引き抜いて下さい。引き抜く際にはピストンパッキングにダメージを与えないように気を付けて下さい。
- ③ クランプを左に回し、緩めます。
- ④ 付属のバルブキーを使用して、左回しでバルブを緩めます。

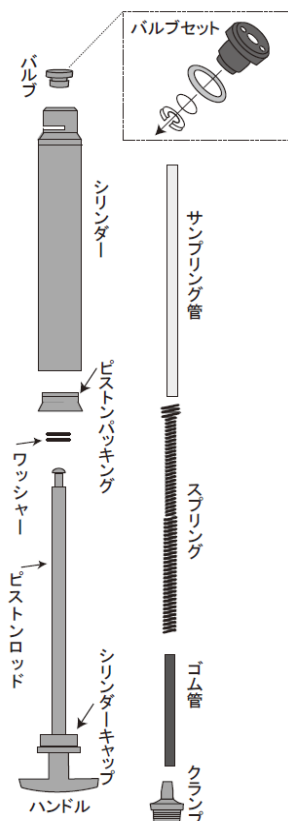
#### ◆クリーニング

ウエスに溶剤を染込ませ、シリンダー内のシリコンオイルの被覆を完全に取ります。

バルブの穴をクリーニングし、穴が清潔になった事を確かめます。

凝縮された煙道排ガスで、ピストンrod表面には残留物が形成されます。このような場合、布やずりで擦り落として磨いて下さい。

- ① シリコンオイル除去専用の溶剤を使用して下さい。
- ① ピストンパッキングやシリンダーの内側から古いシリコンオイルを除去する時は、十分慎重にお取扱下さい。



## ◆シリコンオイルの塗布

フィルタペーパーを隙間に挟んで、ワンストローク2～3秒のサンプリングスピードで引く時にきつく感じられる時は、通常シリコンオイルが不足しています。

- ① 表面「スモークテストのメンテナンス」に従い、シリコンオイルを塗布する前にまず徹底的にクリーニングを行ないます。
- ② ピストンパッキングにシリコンオイルを適量塗布し、組み立てて下さい。
- ③ ピストンロッドがスムーズに動くように、シリコンオイルをシリンダー内になじませて下さい。
- ④ 残りの部品を組み立てて下さい。

① シリコンオイルを塗りすぎると、保管中にスモークテストからシリコンオイルが漏れ出てきますので、ご注意ください。

## 2. ポンプの漏れテスト

- ① フィルターペーパーをはさまずに、クランプをしっかり和締めます。ハンドルを、一番奥まで押し込んでおきます。
- ② サンプリング管の先端を親指でふさぎます。
- ③ 親指で先端をふさいだ状態で、ハンドルを引っ張れるところまで引っ張り(右図)、その後ハンドルを離します。








・ハンドルはほぼ元の位置に戻る:ポンプはシーリングされています。





・ハンドルが元の位置に戻らない:ポンプには漏れがあります。

予測原因:

- ゴムホースが破損している ⇒ 交換して下さい。
- バルブ/バルブセットに異常がある ⇒ 交換して下さい。
- ピストンパッキングにヒビがある ⇒ 交換して下さい。
- ピストンパッキングが僅かに摩耗している ⇒ シリコンオイルを塗布して下さい。
- ネジ部のゆるみ ⇒ 締めなおす。

## 3. サービスパーツ

型番	名称	
HT-1852	シリコンオイル	
HT-1853	スモークスケール	
HT-1855	サンプリング管	
HT-1856	スプリング	
HT-1857	ゴムホース	

型番	名称	
HT-1858	バルブセット	
HT-1865	ワッシャー(2枚セット)	
HT-1866	ピストンパッキング*	
HT-1868	バルブキー	
HT-1651	スペア フィルターペーパー	

※ピストンパッキングを交換しなければならない時は、切ってロッドから取外して下さい。  
新しい物を先細りになったロッドの先端へ、留め部分が噛合うまで、押し付けて取付けます。

ピストンパッキング、もしくはハンドルがピストンロッドに正しく取付けられたことを確かめ、元の適切な位置にシリンダーキャップが留められている事を確認します。

バーナ関連部品、計測器のご用命は…

ホダカ株式会社 〒535-0031 大阪市旭区高殿1-6-17  
TEL: 06-6922-5501 FAX: 06-6922-5895  
<http://www.hodaka-inc.co.jp/> e-mail : [ht@hodaka-inc.co.jp](mailto:ht@hodaka-inc.co.jp)